

団体名：シャンティ国際ボランティア会

国名：アフガニスタン

日付：2025年6月30日

報告書名：令和6年度 完了報告書 (JPF)

令和6年度 JPF 完了報告書

事業名	ナンガハル県における帰還民への食糧・衛生用品配布事業 Distribution of food and WASH items for returnees in Nangarhar Province
事業対象地	アフガニスタン ナンガハル県
事業期間	2024年2月16日～2024年7月22日
公的資金種別	ジャパン・プラットフォーム
予算	44,395,370円
実施内容概要	2023年10月パキスタン政府が不法滞在者の送還を政策決定したことにより、11月末時点で約43万人のアフガニスタン人がパキスタンから帰還を余儀なくされ、2024年にかけて72万人に上るとされている。こうした状況下で、食糧や衛生等のニーズを抱える帰還民に対して、食糧や衛生用品を配布することで、喫緊の食糧ニーズや最低限の生活ニーズに対応する。
成果の達成度	申請時に想定していた裨益世帯(550世帯)よりも130世帯多い、裨益世帯(680世帯)への食糧・生活必需品配布を行った他、事業開始後に判明したニーズにも対応することができた。具体的には、配布キットに、高地での料理に必要な圧力鍋等の追加物資を加えることでより裨益者のニーズに対する生活必需品キットの配布を行った。そのことによる、対象者の満足度も高く得られている。また、追加配布も現地と密に連携をしたことで、事業期間内で実施することができた。こうしたことから、計画以上の成果を達成することができたと判断した。
学びと提言	流動的な為替レートを予め考慮した上で、計画、予算を策定したことで、為替の変動の影響を受けることなく事業を実施することが可能となった。また、現地の状況に応じた追加の物資配布及び配布物資の拡充といった対応を行うことができた。 緊急下での事業において、計画時と事業実施時で、現地のニーズが変化することは起こりうることである。それらを考慮する必要があることは学びになった。 一方で、配布後モニタリングの結果、4世帯から、物資の配布時間・場所、物資の量に関する照会が行われたが、いずれの世帯も、職員の説明が十分であったと回答している。配布に関わる基本情報が正確に伝わらないと、配布に遅延が生じるなど事業全体の遅れにつながりかねない。そうしたことから、物資配布に際して、密なコミュニケーションをしていく必要性が再確認された。